

冷媒管口径表

記号	液管	ガス管
①	φ6.4	φ9.5
②	φ6.4	φ12.7
③	φ9.5	φ15.9
④	φ9.5	φ25.4

図中記号	仕様
R	冷媒用断熱材被覆銅管 JQDA 0009 (断熱性は 12%の保温材とし、保温材厚さは、液管は10mm、ガス管は20mmとする。)
D	一般配管：硬質ポリエチレン管(VP) JIS K 6741-16 (露出部はが-VPとする。)

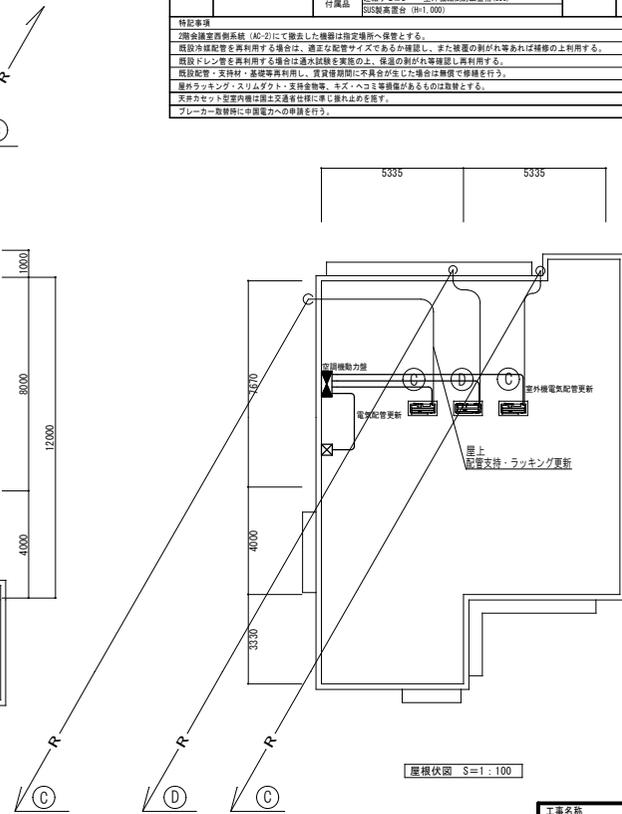
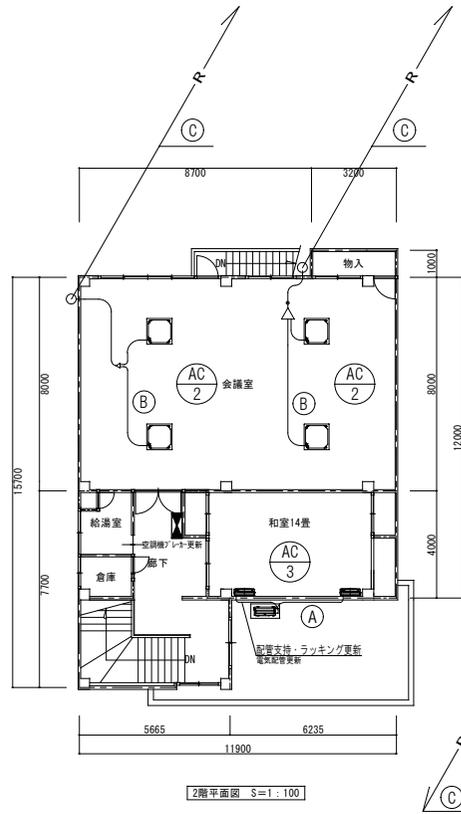
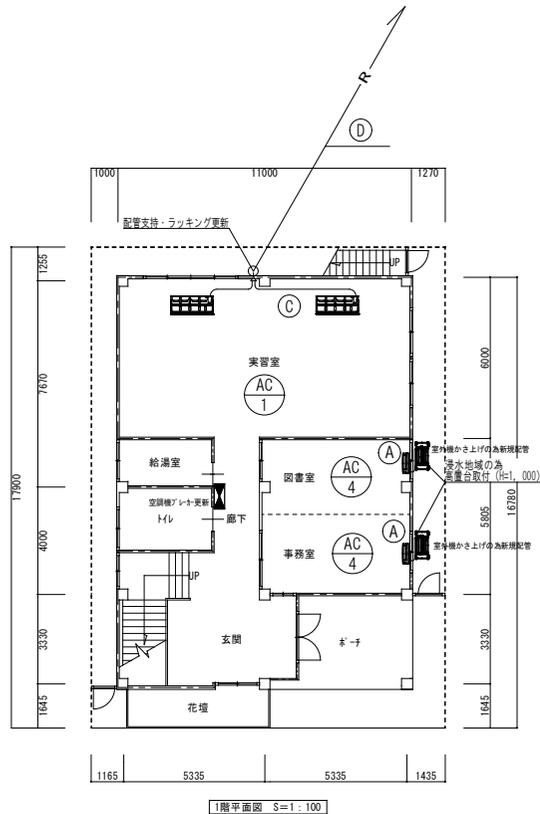
電気設備工事 注意事項

外部で使用する敷配管材・ケーブル類は防火型とする。
基本工事は「公共建築工事標準仕様書」に準じて行う事。

空調機へのブレーカは「漏電遮断器」設置する事。

記号	品名	機械仕様	電源	数量	設置場所
AC-1	空冷式ヒートポンプエアコン 実井希部 ワイヤード 7/4両幹タイプ	冷房能力 22.0(5+17.0) KW 暖房能力 22.4(5+17.0) KW	三相200V (室外機)	1	IF 実習室
		圧縮機 4.52 KW 送風機(内) 150x2 W			
		送風機(外) 227x227 W			
		付属品 運転リモコン			
AC-2	空冷式ヒートポンプエアコン エコラウンドフロー ワイヤード 7/4両幹タイプ	冷房能力 10.2(4.9+5.3) KW 暖房能力 11.2(5.1+6.1) KW	三相200V (室外機)	2	2F 会議室
		圧縮機 1.79 KW 送風機(内) 53x2 W			
		送風機(外) 110x110 W			
		付属品 運転リモコン			
AC-3	空冷式ヒートポンプエアコン 2室用マルチ -	冷房能力 6 KW 暖房能力 7.8 KW	三相200V (室外機)	1	2F 廊下
		圧縮機 1.710 KW 送風機(内) 53x2 W			
		送風機(外) 42.0 W			
		付属品 室外機断熱防止金物(SUS)			
AC-3-1	空冷式ヒートポンプエアコン 室内機 床置き型 -	冷房能力 4.0 KW 暖房能力 4.0 KW	-	2	2F 4号室
		圧縮機 1.710 KW 送風機(内) 14.0 W			
		送風機(外) - W			
		付属品 運転リモコン			
AC-4	空冷式ヒートポンプエアコン ドレエアコン ベアタイプ	冷房能力 3.0(0.3+2.7) KW 暖房能力 4.0(0.3+3.7) KW	三相200V (室外機)	2	IF 事務室 1F 事務室
		圧縮機 0.95 KW 送風機(内) 14.0 W			
		送風機(外) 33.0 W			
		付属品 運転リモコン 室外機断熱防止金物(SUS) SUS製高さ台 (H=1,000)			

特記事項
2階会議室の断熱材(AC-2)にて撤去した機類は指定場所へ搬送する。
既設冷媒配管を再利用する場合は、適正な配管サイズであるか確認し、また継ぎ目の割れ等あれば補修の上利用する。
既設ドレン管を再利用する場合は過水試験を実施の上、保通の割れ等確認し再利用する。
既設配管・支持材・基礎等再利用し、設置後期間に不具合が生じた場合は無償で修繕を行う。
屋外ランニングスリムダクト・支持金物等、ネズミ・ヘビ等被害があるものは取替とする。
天吊りケーブル・空室内機は指定交通量等仕様書に取替し取付止めを指示。
ブレーカー設置時に市電電力への申請を行う。



工事名称	福山市交流館冷暖房設備更新に係る賃貸借事業		
図面名称	縮尺	図番	
	福山市霞交流館空調設備平面図	S=1/100	霞-01
	福山市まちづくり推進課		

電気設備工事 注意事項

外部で使用する鉄配管材・ギヤ類・栓・ワッシャー等は防錆処理とする。
基本工事は「公共建設工事標準仕様書」に準じて行う事。

空調機へのプレートは「漏電遮断器」設置する事。

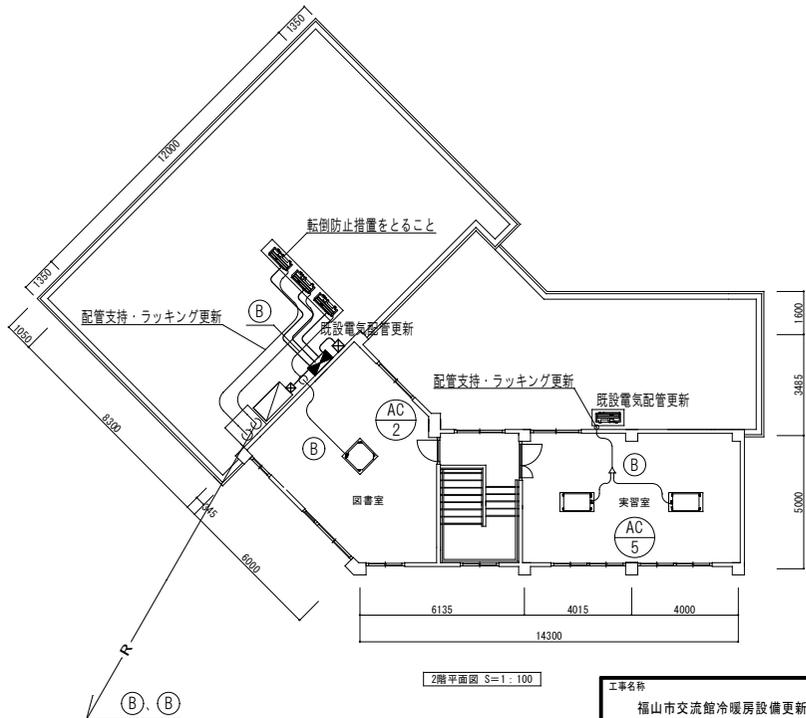
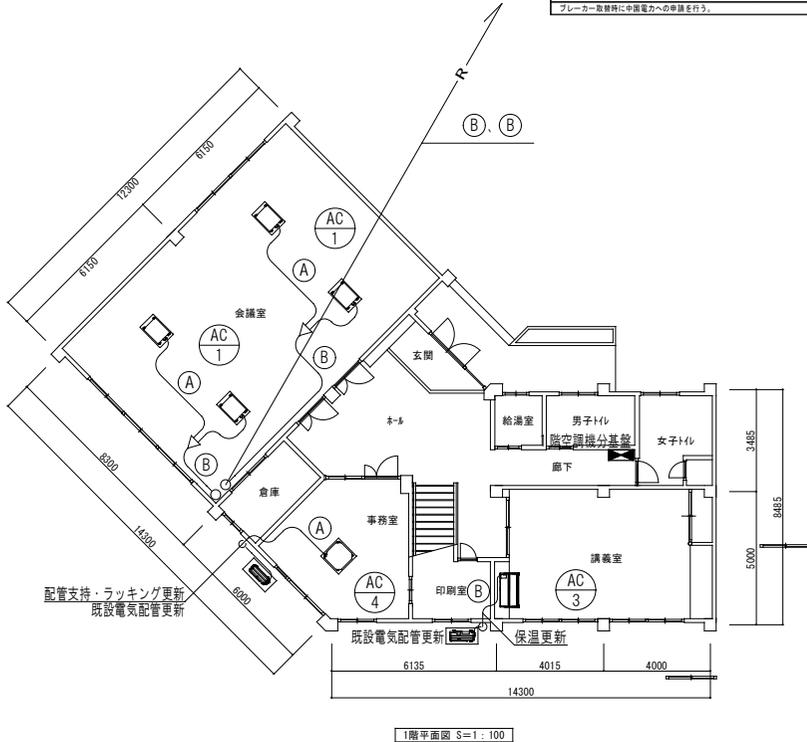
記号	品名	機械仕様	電源	数量	設置場所
AC-1	空調式セントリフジ エアコン	冷房能力 10.014-11.012 KW 暖房能力 11.2.0.1-14.0 KW	三相200V	2	1F 会議室 1F 会議室
	エコダブルフロー	冷房能力 2.600 KW 暖房能力 2.870 KW			
	ワイヤード	圧縮機 1.79 KW 送風機(内) 46x2 W			
	7分同時タイプ	送風機(外) 110x110 W			
	付属品	運転リモコン 室外機転倒防止金物(SUS)			
AC-2	空調式セントリフジ エアコン	冷房能力 10.011-11.012 KW 暖房能力 11.2.0.1-14.0 KW	三相200V	1	2F 図書室
	エコダブルフロー	冷房能力 2.200 KW 暖房能力 2.200 KW			
	ワイヤード	圧縮機 1.79 KW 送風機(内) 106.0 W			
	ベアタイプ	送風機(外) 110x110 W			
	付属品	運転リモコン 室外機転倒防止金物(SUS)			
AC-3	空調式セントリフジ エアコン	冷房能力 4.512-5.010 KW 暖房能力 5.013-6.010 KW	三相200V	1	1F 講義室
	天井吊形	冷房能力 1.950 KW 暖房能力 2.200 KW			
	ワイヤード	圧縮機 1.29 KW 送風機(内) 91.0 W			
	ベアタイプ	送風機(外) 84.0 W			
	付属品	運転リモコン 室外機転倒防止金物(SUS)			
AC-4	空調式セントリフジ エアコン	冷房能力 4.512-5.010 KW 暖房能力 5.013-6.010 KW	三相200V	1	1F 事務室
	エコダブルフロー	冷房能力 0.915 KW 暖房能力 1.030 KW			
	ワイヤード	圧縮機 0.95 KW 送風機(内) 51.0 W			
	ベアタイプ	送風機(外) 50.0 W			
	付属品	運転リモコン 室外機転倒防止金物(SUS)			
AC-5	空調式セントリフジ エアコン	冷房能力 14.013-16.010 KW 暖房能力 16.017-20.0 KW	三相200V	1	2F 実習室
	エコダブルフロー	冷房能力 4.500 KW 暖房能力 4.500 KW			
	ワイヤード	圧縮機 2.93 KW 送風機(内) 106x2 W			
	7分同時タイプ	送風機(外) 110x110 W			
	付属品	運転リモコン ワイドパネル 室外機転倒防止金物(SUS)			

特記事項
1) 1階会議室(AC-1)、2階実習室(AC-5)にて撤去した機種は指定場所へ保管とする。
既設冷媒配管を再利用する場合は、適正な配管サイズであるか確認し、また搬送の割れ等あれば補修の上利用する。
既設ドレン管を再利用する場合は漏水試験を実施の上、保通の割れ等確認し再利用する。
既設配管・支持材・基礎等を利用し、買収期間中に不具合が生じた場合は無償で修繕を行う。
屋外ラック・スリット・基礎金物等、モズ・ヘコ等腐食があるものは取替とする。
天井カセット型室内機は竣工交通者仕様にて取替する。
プレカー取替時に申請電力への申請を行う。

冷媒管口径表

記号	送管	ダクト管
①	φ6.4	φ12.7
②	φ9.5	φ15.9

箇中記号	仕様
R	冷媒用断熱材被覆配管 JSDA 0009
○	(難燃性・95%以上保通材とし、保通材厚さは、送管は10mm、ダクト管は20mmとする。)
D	一般配管：硬質PVC強化ビニル管(VP) JIS K 6741-16 (露出部はVPとする。)



工事名称		
福山市交流館冷暖房設備更新に係る賃貸借事業		
図面名称	縮尺	図番
福山市久松台交流館空調設備2階平面図	S=1/100	久松台-01
福山市まちづくり推進課		

福山市機械設備工事特記仕様書

1 工事概要

1 工事名称 福山市朝コミュニティセンター空調設備更新工事

2 工事場所 福山市朝町後地1208番地

3 用途地域 _____

4 防火地域 ・ 防火地域 _____ ・ 準防火地域 指定なし

5 工事種別 ・ 新築 _____ ・ 増築 _____ ・ 改築 _____ 改修

6 敷地面積 _____ m²

7 建物概要

1) 構造 _____

2) 面積 建築面積 _____ m²
延べ面積 _____ m²

概要	

3) 附属施設 _____

8 消防法令に基づく防火対象物 消防法施行令別表一 (7) 項

9 建築基準法施行規則に定める主要用途区分 ()

※ 本工事の工期には、工事検査期間として14日を含んでいる。
※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出するものとする。
※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。

II 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	工 事 種 目
1. 給排水衛生設備工事	2. 空調設備工事
1 衛生器具設備工事	① 空気調和設備工事
2 給水設備工事	2 換気設備工事
③ 排水設備工事	3 排煙設備工事
4 給湯設備工事	④ 自動制御設備工事
5 消火設備工事	
6 厨房機器設備工事	
7 ガス設備工事	
8 浄化槽設備工事	

III 設備概要 (○印のついたものを適用する。)

給水方式	・ 直轄直圧式 ・ 直轄昇圧式 ・ 高置水槽式 ・ 受水槽方式
排水方式	<input checked="" type="radio"/> 自然流下 ・ ポンプ排水 (・ 汚物 ・ 水 ・ 雑排水)
放流先	汚水 ・ 直放流下水管 ・ 浄化槽 雑排水 ・ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途排水
給湯設備	方式 (・ 局所式 ・ 中央式) 熱源 (・ 電気 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油)
消火設備	・ 屋内消火栓 ・ 連絡送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリングラウ ・ 粉末消火 ・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連絡放水 ・ 消火器 ・ フード等用簡易自動消火 ・ 二酸化炭素消火 ・ 不活性ガス消火
ガス設備	・ 都市ガス 種別13A (4.5MJ/N) ・ 液化石油ガス
浄化槽	・ 小規模合併処理 _____ 合併処理 _____ 単独処理 (既設)
空調和方式等	<input checked="" type="radio"/> 空気調和 (・ 中央ダクト方式 _____ 各層ユニット方式 <input checked="" type="radio"/> パッケージ方式 _____) ・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式 _____)
主要熱源機器	・ 鋼製ボイラー ・ 鉄製ボイラー ・ 温水発生機 ・ テリングユニット ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ・ 遠心冷凍機 ・ スクリュー冷凍機 ・ 吸収冷凍機 ・ 直だし吸収冷凍機 ・ 小形吸収冷凍機ユニット ・ コージェネレーション装置 ・ 氷蓄熱ユニット
換気設備	<input checked="" type="radio"/> パッケージ形空気調和機 _____ ガスエンジン式パッケージ形空気調和機 _____
排煙設備	・ 機械排煙 (・ 有り _____ 無し _____) ・ 適用法規 (・ 建築法 ・ 消防法)
自動制御設備	・ 自動制御方式 (・ 電気式 _____ 電子式 _____ デジタル式 _____) ・ 中央監視制御装置

IV 機械設備工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)最新版(以下「標準仕様書」という。)、同部監修環境課監修公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)最新版(以下「標準図」という。))及び公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)最新版による。

建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書(建築工事編)及び公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)による。

(1) 官庁手続き
受注者は各関係官公署への必要手続きを速やかに完了し、工事完成と同時に建物使用できるよう、一切の手続きを代行する。(水道加入金の納付手続きは除く。関係官公署手続きは監督員の承認とする。)

(2) 地元企業及び地場製品の活用
受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用を努める。

(3) 疑義に対する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は※および○印のついたものを適用する。
(3) 引渡し後、次に示す点検を行う。(○印のついたものを適用する。)

- ・ 引渡し後点検(第1次点検) 引渡しの概ね1年後
- ・ 引渡し後点検(第2次点検) 引渡しの概ね2年後

章 項 目	特 記 事 項
① 適用基準等	・ 公共住宅建設工事共通仕様書 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修(令和元年版) ○ 建築基準法、消防法、その他関係法令 ○ 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編)建設経済局建築課・住宅局建築指導課監修 ○ 建設工事安全施工技術指針 建設大臣官房官庁営繕部監修課長連達
② 監理(主任)技術者	受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。
3 電気保安技術者	・ 適用する。 _____ ・ 適用しない _____
4 技能士	・ 適用する。 _____ ・ 適用しない _____

工 事 別	適 用 種 別	工 事 別	適 用 種 別
・ 配 管	配管施工	・ 冷凍機、空調機	冷凍空調調和機器施工
・ 保 温	熱絶縁施工	・ 風道、換気	建築板金施工

受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。
※施工体制台帳(建設業法等に従って作成し、写しを提出する。)
技術者台帳(施工体制台帳に添付)
監理技術者・主任技術者(下請を含む)及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。
※施工体系図(建設業法に基づき、当該現場のしやすい場所に提示する。)
工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。
指定以外の機材を使用する場合は、あらかじめ監督員の承認を受ける。

また、(社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。(標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる資料の提出を省略することができる。)

形状、寸法等が設計書と異なる場合は他に支障を生じない限り監督員と協議の上処理する。工事に使用する機器および材料は、アスベストを含有しないものとする。

国等による環境物品等の調達の推進に関する法律(平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という。)により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。

材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。

- ・ 引渡しを要するもの ()
- ・ 現場において再利用を図るもの ()

※ 再資源化を図るもの

- ・ アスファルトコンクリート ・ コンクリート ・ 木材
- ・ コンクリート及び鉄からなる建設資材

※上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。))、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(以下、「資源有効利用促進法」という。))、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下、「廃棄物処理法」という。))その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。

※ 建設副産物情報交換システム(COBRIS) (財)日本建設情報総合センター
本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。

また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次表により計画書(実施書)を提出する。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

施工計画時		工事完了時	
搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書	
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書	

※本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物処理税が課税される。

なお、本工事では広島県産業廃棄物処理税相当額を含んでいる。
建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂第2版)-建築設備編-」によるほか特記がない場合は、以下による。

分類	規格	撮影枚数	提出部数
着手前	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1
工事中	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1
完成時	L版程度(カラー)	各室4面 外景4面	1

建設副産物は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を監督員に提出する。

○各種写真は、写真帳(A4版)にて工事完成時に提出する。
・ 原紙等の提出 _____ する (・ 完成時のみ _____ 全て _____) ・ しない _____

・ 提出の方法及び形式は、監督員の指示による。
速やかに次の図書を提出する。

竣工図 (・ A3版2つ折りにして製本 _____) 2部

○ 竣工図 ○ 施工図

- ・ 保安に関する資料(設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等)
- ・ 竣工図電子データ(施工図含む)一式 (「竣工図電子データ作成要領」による。)

○ CADデータ (媒体(CD-Rなど)、データ形式等は監督員の指示による)

施工範囲「工事区分表」による。
※契約書に基づく関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。

⑪ 足場
建築工事等に伴う足場及び安全仮囲いは、無償にて使用できる。
○ 本工事で設置する。
○ 内部足場 (○ 脚立足場 ・ 枠組足場)
○ 外部足場 (○ 枠組足場 ・ 単管足場) 又は高所作業車
※枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドラインによるものとし、足場の組立、解体・変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
・ 同一場所で契約書に基づく関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。
・ 本工事は、交通誘導員として _____ 人を見込んでいる。交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い、監督員に提出する。
※受注者は、次に従い、工事実績情報システム(CORINS)へ登録する。

⑫ 施工中の安全確保

⑬ 工事実績情報システム(CORINS)への登録

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

登録内容について、あらかじめ監督員の確認を受けたのちに、次の期間内に登録申請を行う。ただし期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。

⑭ 情報共有システム
本工事は、インターネットを利用して、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。
本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い利用料を支払うものとする。
運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)」及び「情報共有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。
・ 発注者指定型
共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいる。
受注者は、本システムを利用できない特別な事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。
・ 受注者希望型(契約時の請負金額が500万円以上のものに限り)
工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。
本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て、本システムを利用するものとする。
その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通仮設費に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。

⑮ 測定表
下記項目の測定を行ない監督員に提出する (部)
○ 温度 ・ 湿度 ・ 風量 ・ 騒音 ・ 振動 ・ 気流 ・ 塵埃
・ 飲料水(雑用水)の水質 ・ 浄化槽の放流水質 ・ 化学物質の濃度
測定箇所等は、監督員の指示による。
監督員と協議の上、設備機器類(ボイラー、冷凍機、ポンプ、空調調和機等)及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明板を作成し、指示する箇所に取付ける。
特記なき場合は、EM電線・ケーブルとする。

⑯ 電線類
⑰ 機器附属の制御盤
標準仕様書によるほか下記による。
・ 運転ブロック図に適合するものとする。
・ ボイラー及び冷凍機等の附属盤の始動スイッチ二次側に煤煙濃度計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書を _____ 適用する _____ 機器表特記によるインバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書を _____ 適用する _____ 機器表特記による
・ 合成ゴム製 (球形) ・ ベロース製
標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。(舗装部分は、鉄製・コンクリート製)
排水管を除く地中配管には、土壌リ150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
・ 放射線透過検査等 _____ 必要 _____ 不要

⑱ 防振継手
⑲ 埋設表示
⑳ はつり工事
㉑ 補修など
㉒ 支持金物・固定金具
⑳ 耐震施工
20 耐震施工
21 保温材
22 鋼管類の地中埋設
23 鋼管類の地中埋設
24 鋼管類の地中埋設
25 保温材
26 鋼管類の地中埋設
27 鋼管類の地中埋設
28 塗装
29 スリーブ
30 機器性能
31 電気容量
32 防火区画の貫通処理
33 溶接配管の検査

工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成ならぬ補修する。
ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS304) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製 (SUS304) とす。
又は溶融亜鉛めっき仕上とする。
設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8年版・建設大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2014年版・一般財団法人日本建築センター発行)による。耐震クラスは () とする。
標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。
イ) ポリスチレンフォーム - 給水配管、排水配管の多湿場所
ロ) グラスウール - 給水配管、給湯配管、ダクト類、冷温水配管等
ハ) ロックウール - 排気ダクト、排煙ダクト
ベトログラム系防食テープ (1/2重ね、1回巻き) + プラスチックテープ (1/2重ね、1回巻き)
ブチルゴム系絶縁テープ (1/2重ね、2回巻)
防食用ポリ塩化ビニル粘着テープ (JIS Z 1901 ⊕ 0.4n/m) 1/2重ね、2回巻 (コンクリート内等)

⑳ 塗装
29 スリーブ
30 機器性能
31 電気容量
32 防火区画の貫通処理
33 溶接配管の検査

標準仕様書及び図示による。
外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) とする。
(柱及び梁以外の箇所、開口部強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙張仮設としてもよい。)
図面に記載されている数値以上とする。
" _____ 以下とする。
防火区画の貫通部の処理は、建築基準法に適合する工法とする。
・ ガス配管 ・ 高気配管 ・ 冷温水配管 ・ 冷却水配管 ・ 油管
非破壊検査の適用 _____ 無し _____
・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)
判定基準 ()
採取率は _____ 標準仕様書による

34 化学物質の測定
⑳ 施工調査
36 その他

① 工事現場仮囲い
2 受注者事務所等
③ 工事用水
④ 工事用電力
5 引渡しまでの光熱水費

・ 測定対象化学物質 () ・ 測定方法 ()
・ 測定対象室 () ・ 測定箇所 ()
事前調査 調査項目(本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。)
工事着手に先立ち、設計図書 (A3版縮小) 製本を提出する。 _____ 部

○ ナイロンロープ張り ・ 木製仮囲い ・ 鋼製仮囲い ・ しない
・ 敷地内に建てることできる。
構内既存の施設 ・ 有償で利用できる ○ 無償で利用できる _____ 利用できない (副メーター設置等)
構内既存の施設 ・ 有償で利用できる ○ 無償で利用できる _____ 利用できない (副メーター設置等)
・ 本引込みより引渡しまでの基本料金 ※ 受注者負担 ・ 別途
・ 本引込みより引渡しまでの使用料金 ※ 受注者負担 ・ 別途

1 衛生陶器附属品
2 大便器
3 小便器
4 大便器洗浄弁
5 洗浄用タンク
6 便座
7 化粧箱
8 化粧鏡
9 和風便器耐火カバー
10 手洗器
11 洗面器
12 紙巻器

・ 和風便器は埋込型とし、コンクリート接触面は繊維材塗装加工とする。
・ 陶器陶器品番 JIS記号・陶器陶器品番 TOTOTO記号 (別等品以上)
・ フラッシュバルブ ・ ロータック
・ フラッシュバルブ ・ 自動洗浄 (個別・兼用) _____
・ バキュームブレーカー付
・ 陶器製 ・ 防露形陶器製 ・ 合成樹脂製 ・ 防露形合成樹脂製
・ 普通便座 (・ 蓋有り ・ 蓋無し) ・ 温水洗浄便座 ・ 暖房便座
・ 陶器製 ・ 金属製
・ 一般鏡 ・ 耐食鏡 ・ 盗難防止形
・ 設ける (ビットは除く) ・ 設けない

止水栓付
止水栓付
竣工時ペーパーを設置する。
(・ ワンタッチ式 ・ ワンハンドカット式)
・ 台所流し止水栓は、泡沫式とする。
竣工時水セッケンを補充する。
(水セッケン共)
・ 陶器付形 ・ 壁付形
・ 埋込形 ・ 壁付形

(屋 内)
1 給水方式
2 管
3 弁
4 フレキシブルジョイント
5 伸縮管継手
6 高置水槽
7 受水槽
8 鋼板製水槽の防錆
9 湯水及び圧給水ポンプ
10 ポンプ基礎
11 給水管

・ 直轄直圧式 ・ 直轄増圧式 ・ 高置水槽式 ・ 受水槽方式
・ 水道用硬質塩化ビニルラインニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB (口径100A以上)
・ 内外面水道用硬質塩化ビニルラインニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (・ H1VP ・ VP) (口径75A以下)
・ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)
・ ポリブテン管 (JIS K 6778、JIS K 6792)
・ ポリエチレン管 (JIS K 6762、JWWA K 144)
・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304
・ JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
・ JIS 5K (高置水槽以降の配管に使用)
・ ステンレス製ベロース製 ・ 合成ゴム製円筒形
・ ベロース形単式 ・ ベロース形複式
・ FRP製 (サンドイッチ構造) ・ FRP製
・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス製パネル (・ 溶接 ・ ボルト)
・ FRP製 (サンドイッチ構造) ・ FRP製
・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス製パネル (・ 溶接 ・ ボルト)
・ エポキシ樹脂コーティング ・ 亜鉛アルミニウム及びその合金溶射
・ x /min x m x kW x 台
・ x /min x m x kW x 台

(屋 外)
12 弁
13 弁料
14 量水器
15 量水器継
16 埋設深さ
17 埋設導入部配管
18 漏測メーター
19 その他

・ 水道用硬質塩化ビニルラインニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・ 内外面水道用硬質塩化ビニルラインニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (・ H1VP ・ VP)
・ ポリエチレン管 (JIS K 6762、JWWA K 144)
・ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)
・ ポリブテン管 (JIS K 6778、JIS K 6792)
・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304
・ JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
・ JIS 5K (高置水槽以降の配管に使用)
・ 市規格品 ・ VC形 ・ 市販品
・ 買入 _____ 借用 _____ 既設再利用
・ 水圧毎規格形 (既設) ・ MC形
・ 300mm以上 (車両道路以外) ・ 600mm以上 (車両道路) ・ 凍結深度(400mm)以上
・ 標準図による。
・ 変位を吸収できるようにスリクションとする。
・ リモート型 ・ 流量計 台
鋼管の接合は管端コア付継手等を使用する。
給水管の最小管径は、原則として呼び径20とする。
水圧試験は配管途中、隠ぺい埋戻し前又は配管完了後の被覆施工前に、監督員立会いの上、規定の水圧試験を行う。
・ 配管工事中に管内に異物の混入なきよう充分に注意し、工事完成前に監督員立会いの上、水質検査をして結果を報告する。
・ 飲料水以外の給水管は、鋼接続がないことを確認するため衛生器具等の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験等を行う。

福山市交流館冷暖房設備更新に係る賃貸借事業
福山市朝コミュニティセンター空調設備工事

機械設備工事特記仕様書 No. 1

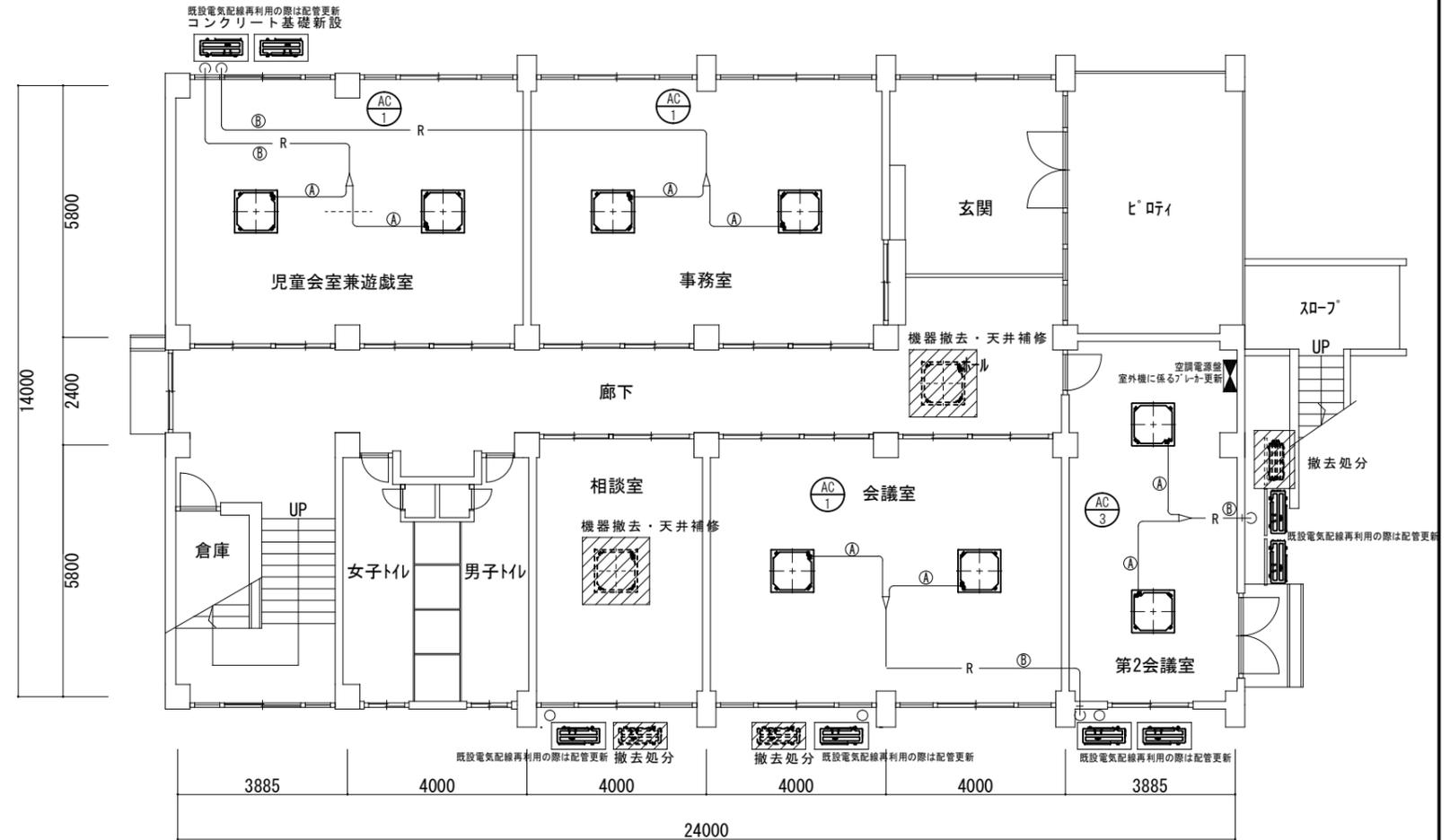
2026年 2月

福山市まちづくり推進課

記号	品名	仕様	電源	数量	設置場所
AC-1	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ラウンドフロー ワイヤード ツインマルチ	冷房能力 10.0(4.8~11.2) KW 暖房能力 11.2(5.1~14.0) KW	三相200V (室外機)	6	1F 会議室 1F 事務室 1F 児童会室兼遊戯室 2F 図書室 2F 学習室兼図書室
		冷房消費電力 2.2 KW 暖房消費電力 2.2 KW			
		圧縮機 1.79 KW 送風機(内) 106 WX2			
		送風機(外) 110 WX2			
付属品	運転リモコン 室外機転倒防止金物 (SUS) 室外機置付架台 (SUS) X1 耐重塩害仕様				
AC-2	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ラウンドフロー ワイヤード トリプルマルチ	冷房能力 20.0(9.0~22.4) KW 暖房能力 22.4(10.1~28.0) KW	三相200V (室外機)	1	2F 調理室
		冷房消費電力 5.3 KW 暖房消費電力 5.2 KW			
		圧縮機 4.52 KW 送風機(内) 106W X3			
		送風機(外) 227 WX2			
付属品	運転リモコン 室外機転倒防止金物 (SUS) 耐重塩害仕様				
AC-3	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ラウンドフロー ワイヤード ツインマルチ	冷房能力 7.1(2.3~8.0) KW 暖房能力 8.0(2.0~10.6) KW	三相200V (室外機)	1	1F 第2会議室
		冷房消費電力 1.59 KW 暖房消費電力 1.58 KW			
		圧縮機 1.29 KW 送風機(内) 106 W			
		送風機(外) 84 W			
付属品	運転リモコン 室外機転倒防止金物 (SUS) 室外機置付架台 (SUS) 耐重塩害仕様				

電気設備工事 注意事項

- 2階会議室にて撤去した機器は指定場所へ保管とする
 - 既設冷媒配管を再利用する場合は、適正な配管サイズであるか確認し、また被覆の剥がれ等あれば補修の上利用する。
 - 既設ドレン管を再利用する場合は通水試験を実施の上、保温の剥がれ等確認し再利用する。
 - 既設配管・支持材・基礎等再利用し、賃貸借期間に不都合が生じた場合は無償で修繕を行う。
 - 屋外ラッキング・スリムダクト・支持金物等、キズ・ヘコミ等損傷があるものは取替とする。
 - 天井カセット型室内機は国土交通省仕様により撤去止めを施す
 - 室外機は耐重塩害仕様とする
 - ブレーカー取替時に中国電力への申請を行う。
- 外部で使用する鉄配管材・ボック類・サ-ト類ははステンレス製とする。
- 基本工事は「公共建築工事標準仕様書」に準じて行う事。
- 空調機へのブレーカは「漏電遮断器」を設置する事。



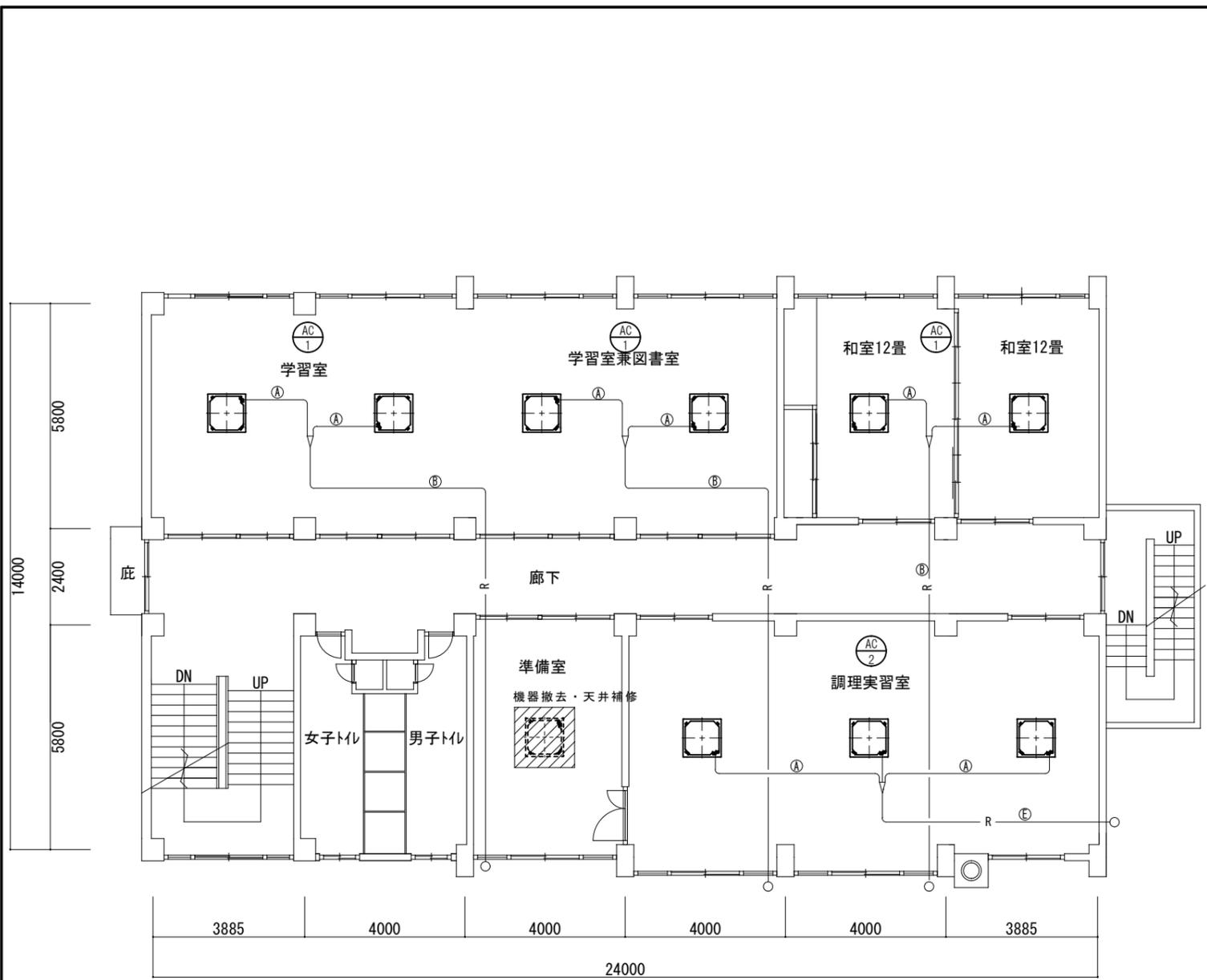
1階平面図 S=1:100

冷媒管口径リスト

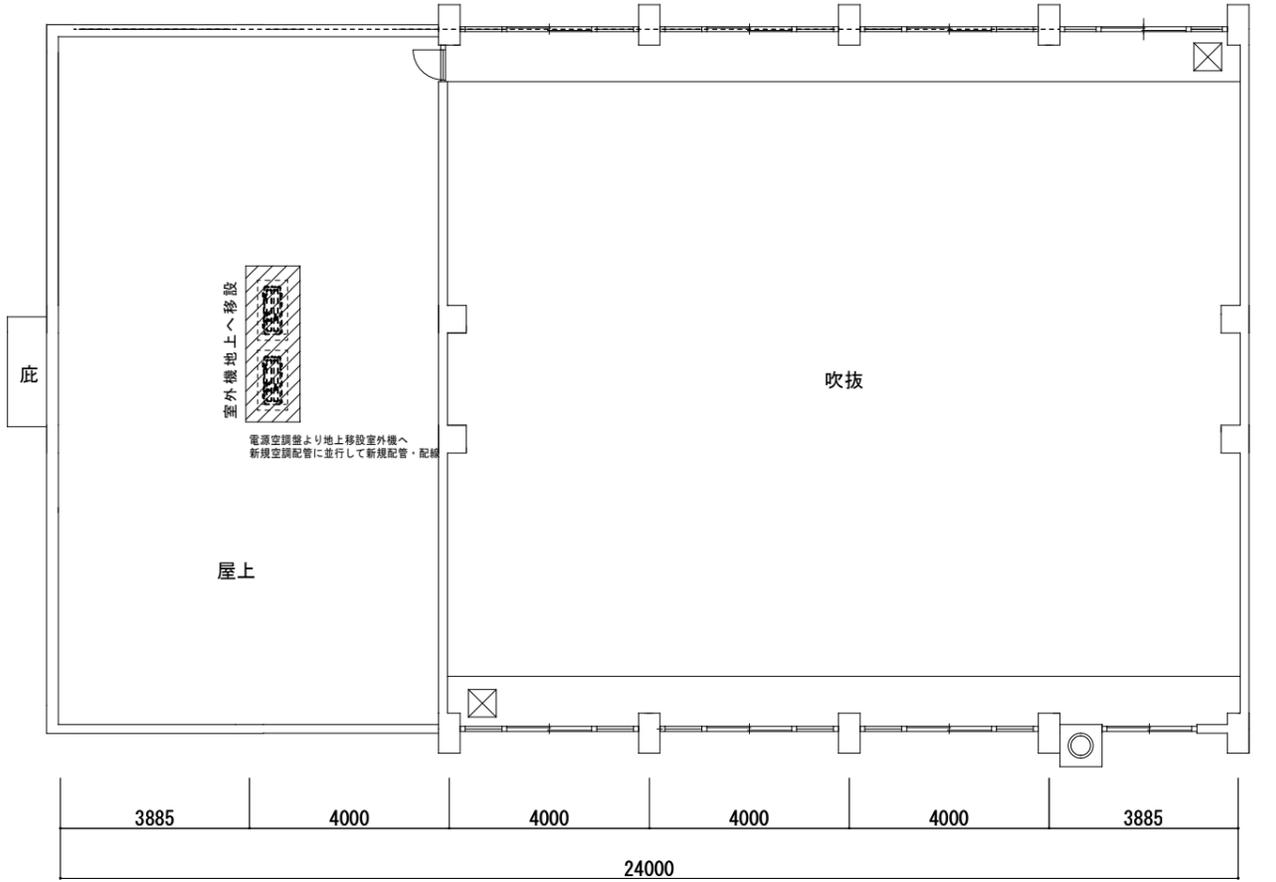
記号	液管	ガス管
(A)	φ6.4	φ12.7
(B)	φ9.5	φ15.9
(C)	φ9.5	φ19.1
(D)	φ9.5	φ19.1
(E)	φ9.5	φ22.2
(F)	φ12.7	φ25.4

図中記号	仕様
— R —	冷媒用断熱材被覆銅管 JCDA 0009 (難燃性ポリエチレン保温材とし、保温材厚さは、液管は10mm、 ガス管は20mmとする。)
— D —	一般配管：硬質ポリ塩化ビニル管(VP) JIS K 6741-16 (露出部はカ-VPとする。)
☒	壁27開孔 壁厚200mm程度 (φ150×4箇所、φ50×2箇所)

工事名称	福山市交流館冷暖房設備更新に係る賃貸借事業		
図面名称	縮尺	図番	
福山市鞆コミュニティセンター空調設備平面図	S=1/100	鞆-01	
福山市まちづくり推進課			



2階平面図 S=1:100



3階吹抜平面図 S=1:100

電気設備工事 注意事項

外部で使用する鉄配管材・ボックス類・ケーブル類はステンレス製とする。
基本工事は「公共建築工事標準仕様書」に準じて行う事。

空調機へのブレーカは「漏電遮断器」を設置する事。

冷媒管口径リスト

記号	液管	ガス管
(A)	φ6.4	φ12.7
(B)	φ9.5	φ15.9
(C)	φ9.5	φ19.1
(D)	φ9.5	φ19.1
(E)	φ9.5	φ25.4
(F)	φ12.7	φ25.4

図中記号	仕様
R	冷媒用断熱材被覆銅管 JICDA 0009 (難燃性ポリエチレン保温材とし、保温材厚さは、液管は10mm、 ガス管は20mmとする。)
D	一般配管：硬質塩化ビニル管(VP) JIS K 6741-16 (露出部はVPとする。)
□	壁切開孔 壁厚200mm程度 (φ150×4箇所、φ50×2箇所)

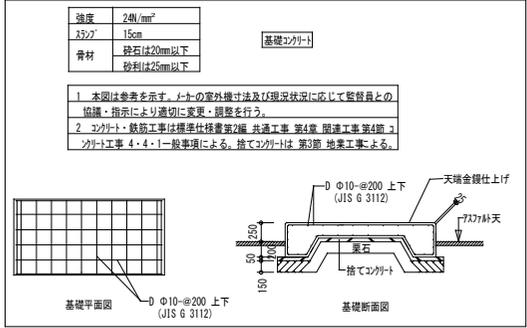
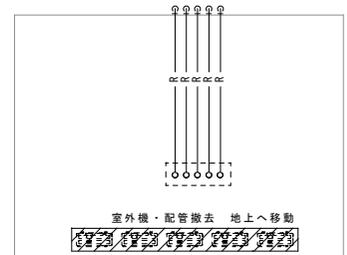
工事名称 福山市交流館冷暖房設備更新に係る賃貸借事業		
図面名称 福山市駅前コミュニティセンター空調設備平面図	縮尺 S=1/100	図番 棟-02
福山市まちづくり推進課		

記号	品名	機種仕様	電源	数量	設置場所
AC-1	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ダブルフロー ワイヤード	冷房能力 7.12(4-8) KW 暖房能力 8.0(2-10) KW	三相200V (室外機)	2	1F 講義室
		送風機(内) 106 W			
		送風機(外) 84 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転防止金物 (SS)			
AC-2	空冷式ヒートポンプエアコン 床置き ペタタイプ	冷房能力 3.12(4-8) KW 暖房能力 4.0(2-10) KW	三相200V (室外機)	1	1F 講義室
		送風機(内) 64 W			
		送風機(外) 84 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転防止金物 (SS)			
AC-3	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ラウンドフロー ワイヤード ペタタイプ	冷房能力 10.0(2-11.2) KW 暖房能力 11.2(8-14.0) KW	三相200V (室外機)	1	1F 事務室
		送風機(内) 108 W			
		送風機(外) 110 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転防止金物 (SS)			
AC-4	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ダブルフロー ワイヤード	冷房能力 7.12(4-8) KW 暖房能力 8.0(2-10) KW	三相200V (室外機)	4	2F 講義室
		送風機(内) 106 W			
		送風機(外) 84 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転防止金物 (SS)			
AC-5	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ダブルフロー ワイヤード	冷房能力 7.12(4-8) KW 暖房能力 8.0(2-10) KW	三相200V (室外機)	1	2F 講義室
		送風機(内) 106 W			
		送風機(外) 84 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転防止金物 (SS)			

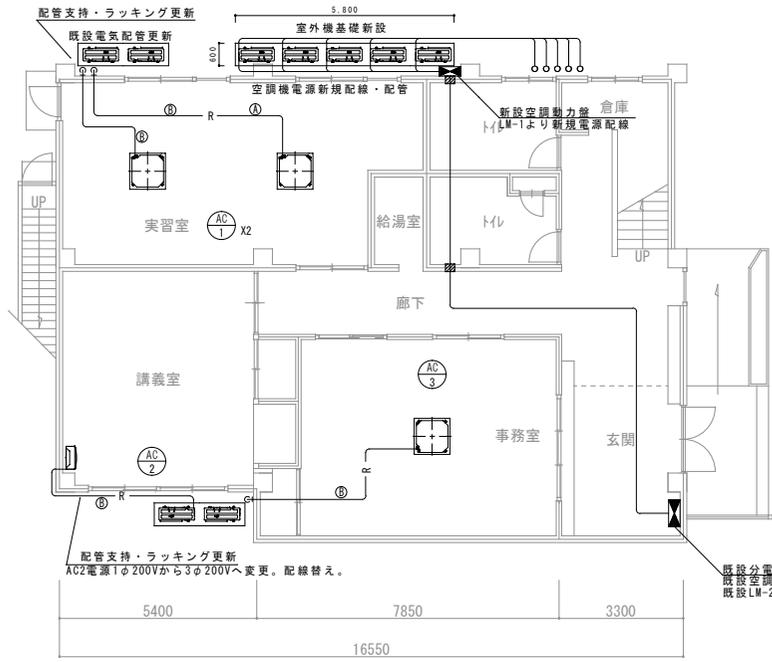
冷媒管口径表

記号	液管	ガス管
①	φ6.4	φ12.7
②	φ9.5	φ15.9
③	φ9.5	φ19.1
④	φ9.5	φ19.1
⑤	φ9.5	φ22.2
⑥	φ12.7	φ25.4

図中記号	仕様
R	冷媒用断熱材被覆銅管 UCDA 0002 (難燃性ポリウレタン保温材とし、保温材厚さは、液管は10mm、 ガス管は20mmとする。)
D	一般配管：硬質ポリ塩化ビニル管(VP) JIS K 6741-16 (露出部はVPとする。)
⊘	壁7開孔 壁厚200mm程度 (φ150×4箇所、φ50×2箇所)



R階平面図 S=1:100

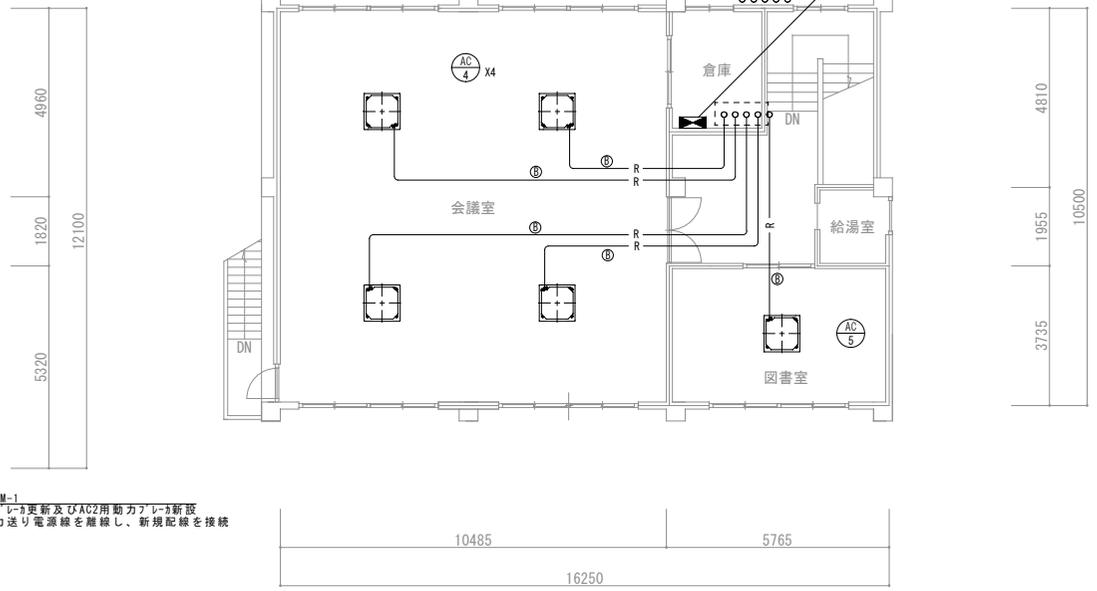


1階平面図 S=1:100

電気設備工事 注意事項

外部で使用する鉄配管材・ボックス類・枠・ト類ははステンレス製とする。
基本工事は「公共建築工事標準仕様書」に準じて行う事。

空調機へのブレーカーは「漏電遮断器」を設置する事。



2階平面図 S=1:100

工事名称	福山市交流館冷暖房設備更新に係る賃貸借事業	
図面名称	縮尺	図番
福山市熊野交流館空調設備平面図	S=1/100	熊野-01
福山市まちづくり推進課		

福山市機械設備工事特記仕様書

I 工事概要
1 工事名称 福山市金江交旅館空調設備更新工事
2 工事場所 福山市金江町雲184-2
3 用途地域
4 防火地域
5 工事種別
6 敷地面積
7 建物概要

8 消防法令に基づく防火対象物
9 建築基準法施行規則に定める主要用途区分
10 本工事の工期には、工事検査期間として4日を含んでいる。
11 契約締結後4日以内に実施工程表を提出するものとする。
12 本工事は、法定外の労務提供を見込んでいない。

Table with 2 columns: 工 事 種 別, 工 事 種 目. Includes items like 給排水衛生設備工事, 電気設備工事, etc.

II 設備仕様 (O印のついたものを使用する。)

IV 機械設備工事仕様
1 共通仕様
2 完成時の提出図書
3 関連工事等の調整

(3) 設置に対する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

Table with 2 columns: 要 項, 特 記 事 項. Includes sections for 適用標準, 監督 (主任) 技師等, 施工管理, 機械材料等.

Table with 2 columns: 工 事 種 別, 工 事 種 目. Includes items like 給排水衛生設備工事, 電気設備工事, etc.

Table with 2 columns: 工 事 種 別, 工 事 種 目. Includes items like 給排水衛生設備工事, 電気設備工事, etc.

III 設備仕様 (O印のついたものを使用する。)

11 足場
12 足場の安全管理
13 工事実績情報システム (CORIS)への登録
14 情報共有システム

Table with 2 columns: 要 項, 特 記 事 項. Includes sections for 適用標準, 監督 (主任) 技師等, 施工管理, 機械材料等.

Table with 2 columns: 工 事 種 別, 工 事 種 目. Includes items like 給排水衛生設備工事, 電気設備工事, etc.

Table with 2 columns: 工 事 種 別, 工 事 種 目. Includes items like 給排水衛生設備工事, 電気設備工事, etc.

III 設備仕様 (O印のついたものを使用する。)

34 化学物質の測定
35 施工調査
36 その他

1 衛生防護用品
2 大気器
3 小気器
4 大気器洗浄弁
5 洗浄用タンク
6 便座
7 化粧鏡
8 化粧鏡
9 高気密耐水カバー
10 手洗器
11 止水器
12 紙巻器
13 水栓
14 水セッキン入れ
15 セッキン受け

1 給排水
2 管
3 弁
4 フレキシブルジョイント
5 伸縮継手
6 高気密水栓
7 受水槽
8 鋼製水栓の防錆
9 給水及び給圧給水ポンプ
10 ポンプ基礎
11 弁
12 弁
13 弁脚
14 量水器
15 量水器
16 埋設深さ
17 埋設物入配管
18 隔測マター
19 その他

福山市交旅館冷暖房設備更新に係る賃貸借事業
福山市金江交旅館空調設備工事
機械設備工事特記仕様書 No.1
2026年 2月
福山市まちづくり推進課

冷媒管口径表

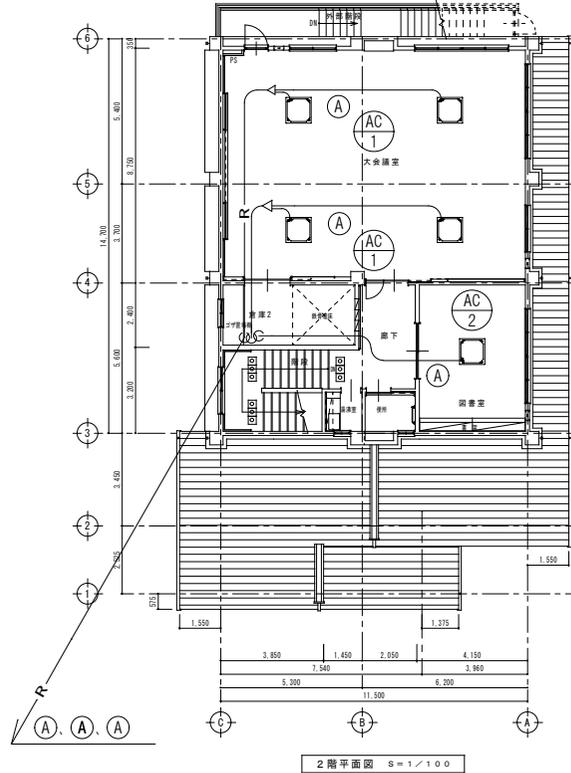
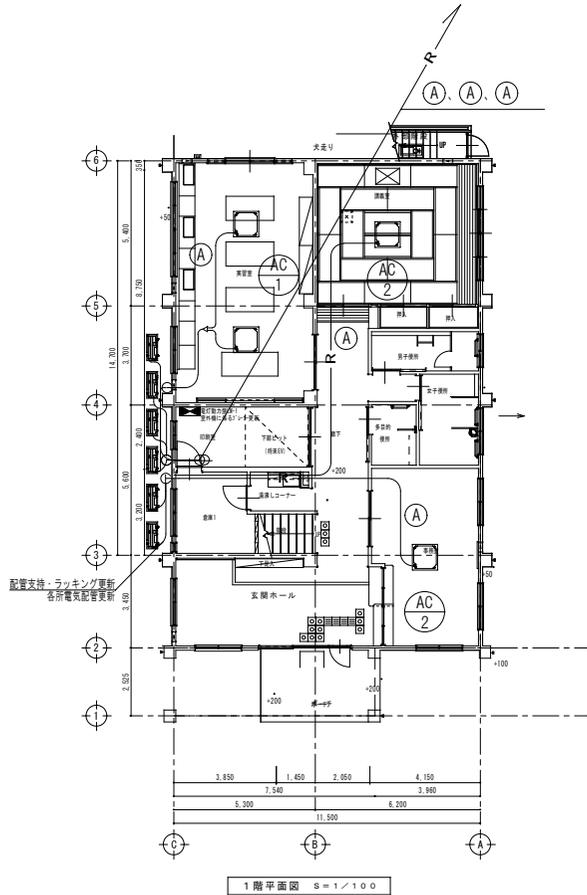
記号	液管	ガス管
Q	φ6.4	φ12.7

図中記号	仕様
R	冷媒用断熱材被覆配管 JGMA 0009
○	ガス管は20mmとする。
D	一般配管・覆装被り強化ビニル管(VP) JIS K 6741-16 (露出部はVPとする。)

電気設備工事 注意事項

外部で使用する鉄配管材・ボックス類・管・ケーブル類はステンレスとする。
基本工事は「公共建築工事標準仕様書」に準じて行う事。

空調機への7レートを「漏電遮断器」設置する事。



記号	品名	機械仕様				電源	数量	設置場所
AC-1	空冷式ヒートポンプ エアコン エコ・ラウンドフロー ワイヤード 7イン同時タイプ	冷房能力	12.5(5.7~14.0) KW	暖房能力	14.0(6.3~18.0) KW	三相200V (室外機)	3	1F 来客室 2F 大会議室 x2
		冷房消費電力	2.950 KW	暖房消費電力	3.200 KW			
		圧縮機	2.36 KW	送風機(内)	53x2 W			
				送風機(外)	110+110 W			
付属品		運転リモコン 転倒防止金具						
AC-2	空冷式ヒートポンプ エアコン エコ・ラウンドフロー ワイヤード ペアタイプ	冷房能力	7.1(2.3~8.0) KW	暖房能力	8.0(2.0~10.6) KW	三相200V (室外機)	3	1F 事務室 1F 講義室 2F 図書室
		冷房消費電力	1.590 KW	暖房消費電力	1.580 KW			
		圧縮機	1.29 KW	送風機(内)	106.0 W			
				送風機(外)	84.0 W			
付属品		運転リモコン 転倒防止金具						
特記事項								
既設冷媒配管を再利用する場合は、適正な配管サイズであるか確認し、また被覆の剥がれ等あれば補修の上利用する。								
既設ドレン管を再利用する場合は通水試験を実施の上、保温の剥がれ等確認し再利用する。								
既設配管・支持材・基礎等再利用し、賃貸借期間に不具合が生じた場合は無償で修繕を行う。								
屋外ラッキング・スリムダクト・支持金物等、キズ・ヘコミ等損傷があるものは取替とする。								
天井カセット型室内機は国土交通省仕様に基づき撤止めを施す。								
ブレーカー取替時に中国電力への申請を行う。								

工事名称		
福山市交流館冷暖房設備更新に係る賃貸借事業		
図面名称	縮尺	図番
福山市金江交流館空調設備平面図	S=1/100	金江-01
福山市まちづくり推進課		

電気設備工事 注意事項

外部で使用する鉄配管材・ボックス類・ケーブル類はステンレス製とする。
基本工事は「公共建築工事標準仕様書」に準じて行う事。

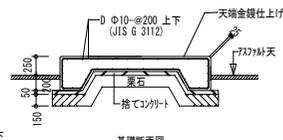
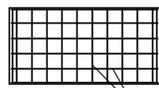
空調機へのブレーカは「漏電遮断器」を設置する事。

記号	品名	機種仕様	電源	数量	設置場所
AC-1	空冷式ヒートポンプエアコン 壁掛型 ワイヤード ペアタイプ	冷房能力 4.5(2.1~6.0) KW 暖房能力 5.0(2.3~8.0) KW	三相200V (室外機)	1	IF 和室
		***** 1.15 KW ***** 1.28 KW			
		圧縮機 0.85 KW 送風機(内) 30 W			
		送風機(外) 50 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転脱防止金具(SUS)			
AC-2	空冷式ヒートポンプエアコン 壁掛型 ワイヤード ペアタイプ	冷房能力 4.5(2.1~6.0) KW 暖房能力 5.0(2.3~8.0) KW	三相200V (室外機)	1	IF 事務室
		***** 1.15 KW ***** 1.28 KW			
		圧縮機 0.85 KW 送風機(内) 30 W			
		送風機(外) 50 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転脱防止金具(SUS)			
AC-3	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ラウンドフロー ワイヤード フィンマルチ	冷房能力 10.0(4.3~11.0) KW 暖房能力 11.2(5.1~11.0) KW	三相200V (室外機)	1	IF 実習室
		***** 2.3 KW ***** 2.85 KW			
		圧縮機 1.79 KW 送風機(内) 528 W			
		送風機(外) 110 Wx2			
		付属品 運転リモコン 室外機転脱防止金具(SUS)			
AC-4	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ラウンドフロー ワイヤード フィンマルチ	冷房能力 14.0(6.2~14.0) KW 暖房能力 16.0(7.3~20.0) KW	三相200V (室外機)	2	IF 会議室
		***** 3.5 KW ***** 3.8 KW			
		圧縮機 2.93 KW 送風機(内) 1098 W			
		送風機(外) 227 Wx2			
		付属品 運転リモコン 室外機転脱防止金具(SUS)			
AC-5	空冷式ヒートポンプエアコン 壁掛型 ワイヤード ペアタイプ	冷房能力 4.0(1.8~4.0) KW 暖房能力 4.5(2.1~5.0) KW	三相200V (室外機)	1	IF 和室
		***** 1.17 KW ***** 1.03 KW			
		圧縮機 0.71 KW 送風機(内) 30 W			
		送風機(外) 50 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転脱防止金具(SUS)			

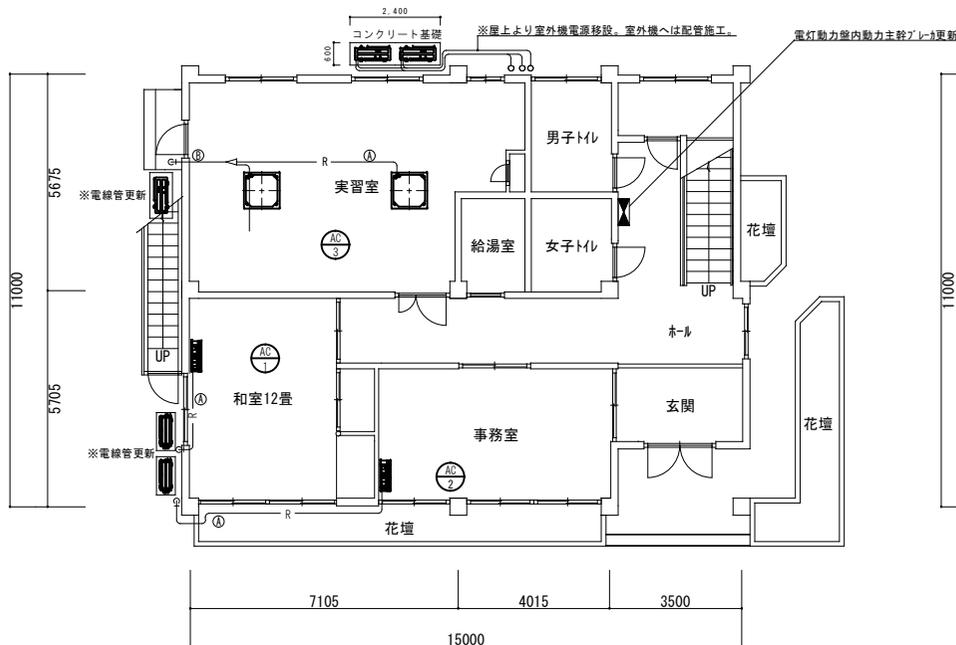
特記事項
2階会議室にて撤去した機器は(AC-4)指定場所へ保管とする。
既設冷媒配管を再利用する場合は、適正な配管サイズであるか確認し、また配管の割れ等あれば補修の上利用する。
既設ドレン管を再利用する場合は通水試験を実施の上、保温の割れ等確認し再利用する。
既設配管・支持材・基礎等再利用し、賃貸借期間に不都合が生じた場合は無償で補修を行う。
屋外ラッキング・スリムダクト・支持金物等。キズ・ホコミ等損傷があるものは取替とする。
天井カセット型室内機は国土交通省仕様準に撤去止めを施す。
ブレーカー取替時に中国電力への申請を行う。

強度	24N/mm ²
スラブ	15cm
骨材	鉄筋は20mm以下 鉄利は25mm以下

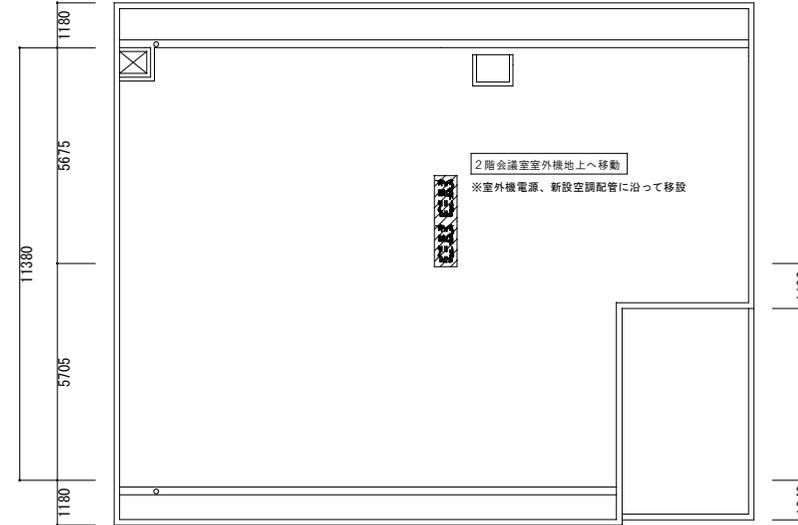
基礎コック



- 1 本図は参考を示す。ノキの室外機寸法及び現況状況に応じて監督員との協議・指示により適切に変更・調整を行う。
- 2 コック・鉄筋工事は標準仕様書第2編 共通工事 第4章 関連工事第4節 コック工事 4.4.1一般事項による。捨てコックは 第3節 地業工事による。



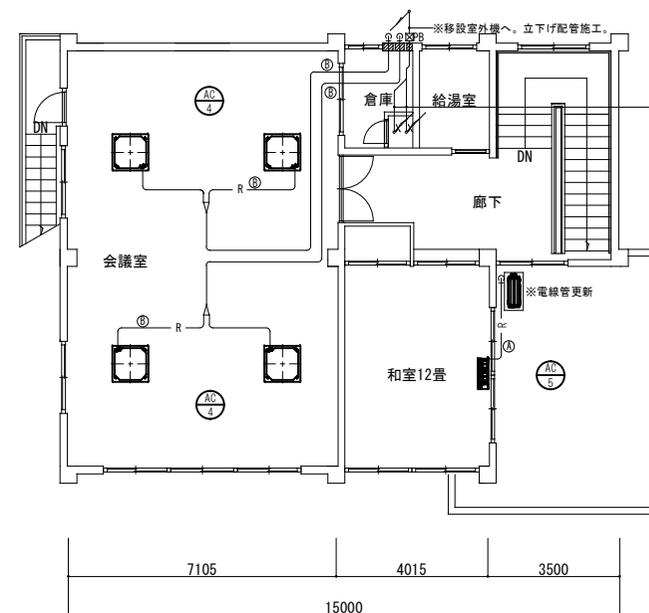
1階平面図 S=1:100



屋根伏せ図 S=1:100

冷媒管口径表

記号	液管	汽管
①	φ6.4	φ12.7
②	φ9.5	φ15.9
③	φ9.5	φ19.1
④	φ9.5	φ19.1
⑤	φ9.5	φ22.2
⑥	φ12.7	φ25.4



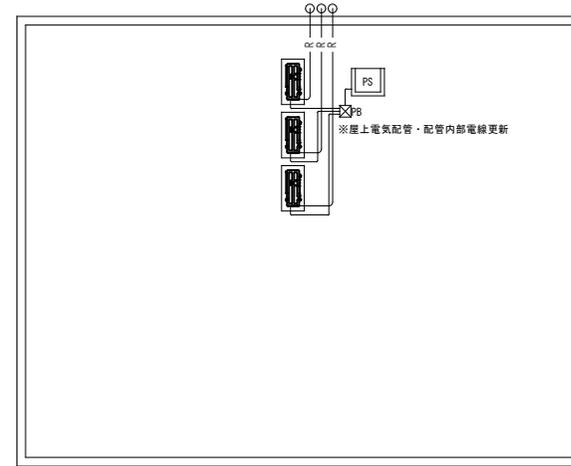
2階平面図 S=1:100

図中記号	仕様
R	冷媒用断熱材被覆銅管 JGDA 0009 (種燃性P15F15保温材とし、保温材厚さは、液管は10mm、汽管は20mmとする。)
D	一般配管・絶縁被覆化ビニル管(VP) JIS K 6741-16 (露出部はVPとする。)
□	壁穿り開孔 壁厚200mm程度(φ150×4箇所、φ50×2箇所)

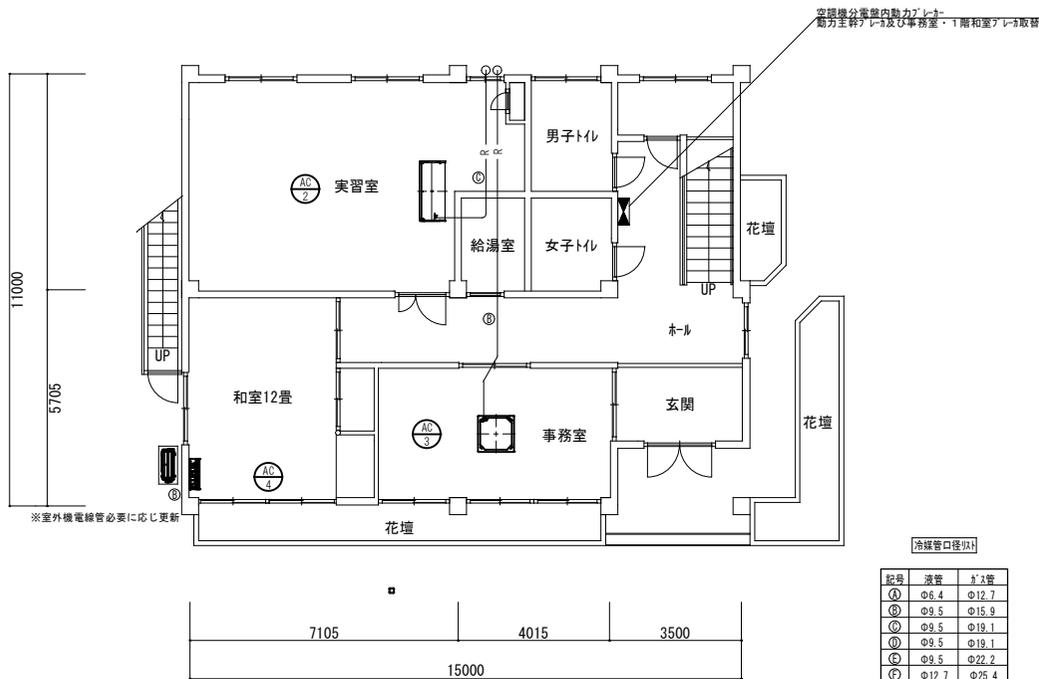
工事名称 福山市交流館冷暖房設備更新に係る賃貸借事業		
図面名称 福山市柳津交流館空調設備平面図	縮尺 S=1/100	図番 柳津-01
福山市まちづくり推進課		

記号	品名	機械仕様	電源	数量	設置場所
AC-1	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ラウンドフロー ワイヤード ツイナルマ	冷房能力 14.0(3~16.0) KW 暖房能力 16.0(7.3~20.0) KW	三相200V (室外機)	1	2F 会議室
		圧縮機 3.5 KW 送風機(内) 100W X2			
		送風機(外) 227 W X2			
		付属品 運転リモコン 室外機転倒防止金物 (SUS)			
AC-2	空冷式ヒートポンプエアコン 変換型 ワイヤード ペアタイプ	冷房能力 10.0(4.8~11.0) KW 暖房能力 11.2(5.1~14.0) KW	三相200V (室外機)	1	1F 実習室
		圧縮機 2.0 KW 送風機(内) 150 W			
		送風機(外) 110W X2			
		付属品 運転リモコン 室外機転倒防止金物 (SUS)			
AC-3	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ラウンドフロー ワイヤード ペアタイプ	冷房能力 4.0(1.2~4.0) KW 暖房能力 5.0(1.3~4.0) KW	三相200V (室外機)	1	1F 事務室
		圧縮機 0.65 KW 送風機(内) 53 W			
		送風機(外) 50 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転倒防止金物 (SUS)			
AC-4	空冷式ヒートポンプエアコン 変換型 ワイヤード ペアタイプ	冷房能力 4.0(1.2~4.0) KW 暖房能力 5.0(1.3~4.0) KW	三相200V (室外機)	2	1F 和室 2F 和室
		圧縮機 1.15 KW 送風機(内) 30 W			
		送風機(外) 50 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転倒防止金物 (SUS)			

特記事項
 2階会議室にて撤去した機器は指定場所へ保管とする
 既設冷媒配管を再利用する場合は、適正な配管サイズであるか確認し、また被覆の割れ等あれば補修の上利用する。
 既設ドレン管を再利用する場合は通水試験を実施の上、保通の割れ等確認し再利用する。
 既設配管・支持材・基礎等再利用し、貫設後期間に不都合が生じた場合は無償で修繕を行う。
 屋外ラッキング・スリムダクト・支持金物等。キズ・ヘコミ等損傷があるものは取替とする。
 天井カセット型室内機は国産交通省仕様様に準じ取替止めを施す。
 プレーカー取替時に中国電力への申請を行う。



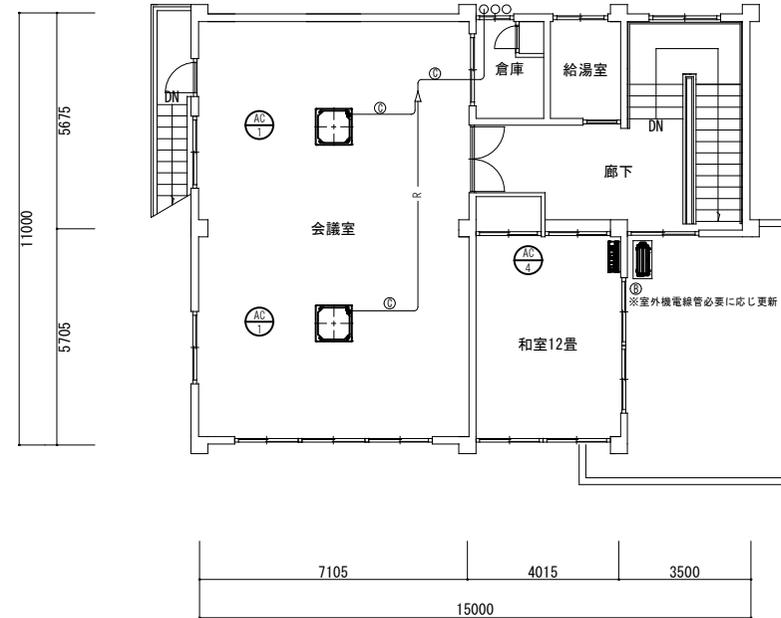
R階平面図 S=1:100



1階平面図 S=1:100

記号	液管	ガス管
①	φ6.4	φ12.7
②	φ9.5	φ15.9
③	φ9.5	φ19.1
④	φ9.5	φ19.1
⑤	φ9.5	φ22.2
⑥	φ12.7	φ25.4

図中記号	仕様
—R—	冷媒用断熱材被覆配管 JCA 0009 (難燃性P/F樹脂被覆材とし、保温材厚さは、液管は10mm、ガス管は20mmとする。)
—D—	一般配管：硬質ポリ塩化ビニル管(WP) JIS K 6741-16 (露出部は付-VPとする。)
⊘	壁穿り開孔 壁厚200mm程度 (φ150×4箇所、φ50×2箇所)



2階平面図 S=1:100

工事名称			
福山市交流館冷暖房設備更新に係る賃貸借事業			
図面名称	縮尺	図番	
福山市春日交流館空調設備平面図	S=1/100	春日-01	
福山市まちづくり推進課			

記号	品名	機械仕様	電源	数量	設置場所
AC-1	空冷式ヒートポンプエアコン 天井カセット(1方向) ワイヤード ペアタイプ	冷房能力 1.0(2.3~5.0) KW 暖房能力 1.4(2.4~7.0) KW	三相200V (室外機)	1	1F 講義室
		※冷房能力 1.40 KW ※暖房能力 1.53 KW			
		圧縮機 1.07 KW 送風機(内) 78 W			
		送風機(外) 50 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転動防止金物(SUS) ワイヤード取付金物			
AC-2	空冷式ヒートポンプエアコン 天井カセット(1方向) ワイヤード ペアタイプ	冷房能力 1.0(2.3~5.0) KW 暖房能力 1.3(2.3~6.0) KW	三相200V (室外機)	1	1F 講義室
		※冷房能力 1.65 KW ※暖房能力 1.64 KW			
		圧縮機 1.1 KW 送風機(内) 78 W			
		送風機(外) 50 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転動防止金物(SUS) ワイヤード取付金物			
AC-3	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ラウンドフロー ワイヤード ツインマルチ	冷房能力 2.0(4.4~11.0) KW 暖房能力 1.1(2.5~4.4) KW	三相200V (室外機)	1	1F 実習室
		※冷房能力 2.3 KW ※暖房能力 2.45 KW			
		圧縮機 1.79 KW 送風機(内) S38 X2			
		送風機(外) 110 Wx2			
		付属品 運転リモコン 室外機転動防止金物(SUS)			
AC-4	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ダブルフロー ワイヤード ペアタイプ	冷房能力 4.5(1.3~5.0) KW 暖房能力 1.0(1.3~4.0) KW	三相200V (室外機)	1	2F 実習室
		※冷房能力 0.915 KW ※暖房能力 1.03 KW			
		圧縮機 0.85 KW 送風機(内) 53 W			
		送風機(外) 50 W			
		付属品 運転リモコン 室外機転動防止金物(SUS)			
AC-5	空冷式ヒートポンプエアコン エコ・ラウンドフロー ワイヤード ツインマルチ	冷房能力 12.5(7~14.0) KW 暖房能力 14.0(3~14.0) KW	三相200V (室外機)	2	2F 会議室
		※冷房能力 2.95 KW ※暖房能力 3.2 KW			
		圧縮機 2.36 KW 送風機(内) S38 X2			
		送風機(外) 110 Wx2			
		付属品 運転リモコン 室外機転動防止金物(SUS)			

特記事項

既設冷媒配管を再利用する場合は、適正な配管サイズであるか確認し、また被覆の割れ等あれば補修の上利用する。

既設ドレン管を再利用する場合は通水試験を実施の上、保温の割れ等確認し再利用する。

既設配管・支持材・基礎等再利用し、賃貸借期間に不都合が生じた場合は無償で修繕を行う。

屋外ラッキング・スリムダクト・支持金物等。キズ・ヘコミ等損傷があるものは取替とする。

天井カセット型室内機は国土交通省仕様に基づき撤止めを施す。

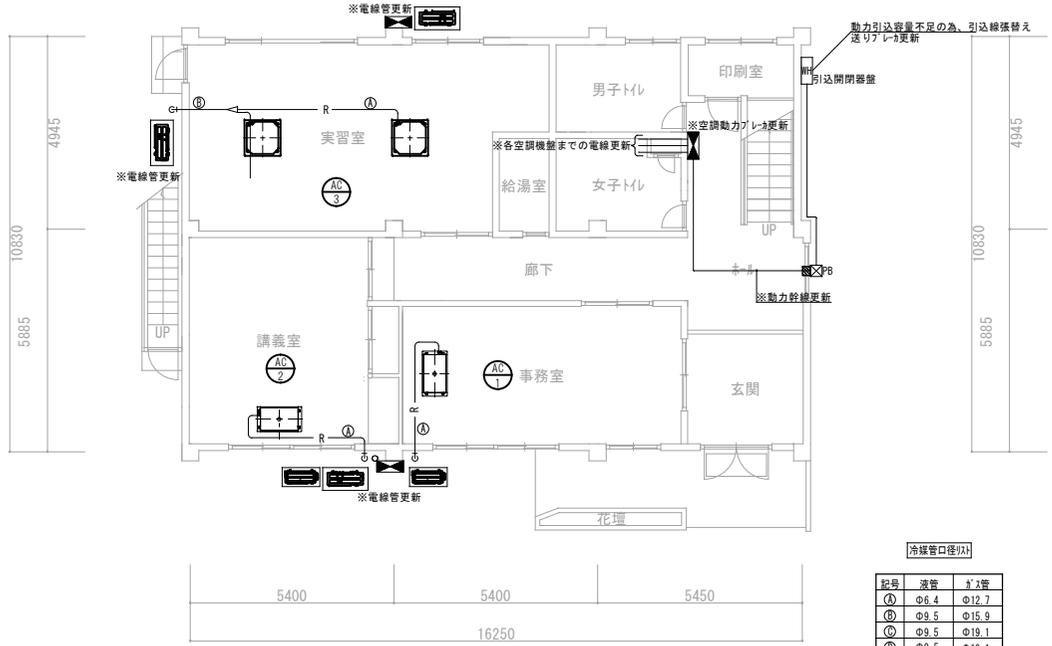
ブレーカー取替時に中国電力への申請を行う。

電気設備工事 注意事項

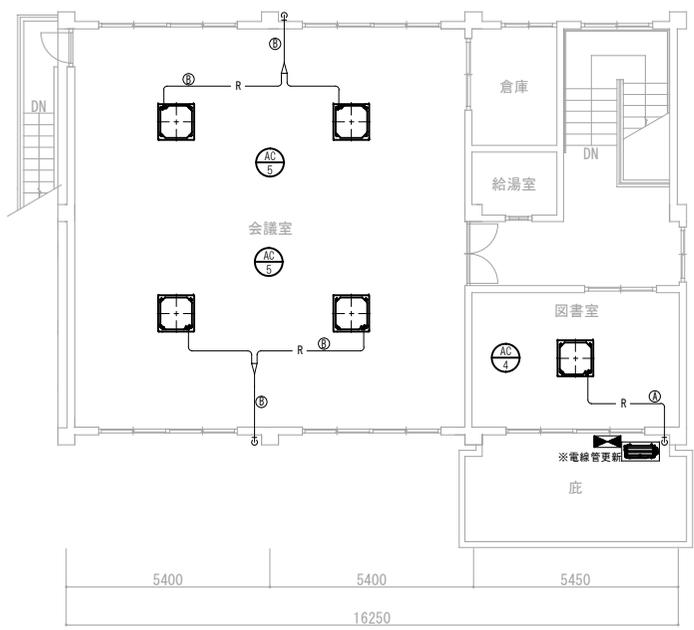
外部で使用する鉄配管材・ボック類・ホック類はステンレス製とする。

基本工事は「公共建築工事標準仕様書」に準じて行う事。

空調機へのブレーカは「漏電遮断器」を設置する事。



1階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100

記号	液管	ガス管
①	φ6.4	φ12.7
②	φ9.5	φ15.9
③	φ9.5	φ19.1
④	φ9.5	φ19.1
⑤	φ9.5	φ22.2
⑥	φ12.7	φ25.4

図中記号	仕様
—R—	冷媒用断熱材被覆銅管 JICA 0009 (難燃性) 11種(保温材とし、保温材厚さは、液管は10mm、ガス管は20mmとする。)
—D—	一般配管：硬質ポリ塩化ビニル管(VP) JIS K 6741-16 (露出部はUPとする。)
◎	継ぎ目開孔 継ぎ目20mm程度 (φ150×4箇所、φ50×2箇所)

工事名称		
福山市交流館冷暖房設備更新に係る賃貸借事業		
図面名称	縮尺	図番
福山市幕山交流館空調設備平面図	S=1/100	幕山-01
福山市まちづくり推進課		

